

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツ経営学(Sports management)	授業コード	E039451
担当教員名	竹田 隆行		
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。ただし、2/3以上の出席がなければテストを受けることができません。		
受講心得	スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたいです。		
教科書			
参考文献及び指定図書	スポーツ産業論 第5版(杏林書院)		
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、地域とスポーツ		

授業の目的	<p>スポーツを楽しむ人々の年齢層が広がるとともに、スポーツやレジャーを楽しむ場所や機会が飛躍的に増大しました。しかしながら、実際にスポーツを楽しんでいる人たちはわずかです。需要と供給のミスマッチをコーディネートできる人材がいないのが問題です。スポーツの場にも経営的センスを持った人材が求められています。</p> <p>本講義では、スポーツ経営学とは何かを学習します。試験に合格することだけでなく、修得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目標とします。</p>
授業の概要	スポーツ経営学を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：○第1回 スポーツを取り巻く環境の変化	課題・確認
第2週：○第2回 スポーツ経営学とは	課題・確認
第3週：○第3回 スポーツ経営学とは	課題・確認
第4週：○第4回 経営戦略	課題・確認
第5週：○第5回 経営戦略	課題・確認
第6週：○第6回 経営戦略	課題・確認
第7週：○第7回 経営戦略	課題・確認
第8週：○第8回 スポーツマーケティング	課題・確認
第9週：○第9回 スポーツマーケティング	

		課題・確認
第10週：○第10回	スポーツマーケティング	課題・確認
第11週：○第11回	スポーツスポンサーシップ	課題・確認
第12週：○第12回	プロスポーツビジネス	課題・確認
第13週：○第13回	プロスポーツビジネス	課題・確認
第14週：○第14回	公共スポーツのマネジメント	課題・確認
第15週：○第15回	公共スポーツのマネジメント	課題・確認
第16週：期末試験	これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	これまで経験してきたスポーツ観にとらわれずに講義にのぞんで欲しい。
<b>【知識・理解】</b>	スポーツ経営に関する基本的な考え方を理解する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	講義で学んだことを実際のスポーツ経営の場で活かせるアイデア・企画立案ができることを期待する。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点			
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	20点			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	
発表・その他(無形成果)	